



各 位

会社名 株式会社竹内製作所
代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄
(JASDAQ・コード 6432)
問合せ先 取締役経営企画室長 神山 輝夫
電話番号 0268-81-1100 (代表)

平成 24 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 5 月 24 日付「平成 24 年 2 月期業績予想に関するお知らせ」において発表いたしました平成 24 年 2 月期（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 2 月期 第 2 四半期累計期間業績予想（平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日）

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,300	600	610	350	21.43
今回修正予想 (B)	20,561	402	△187	△470	△28.78
増減額 (B—A)	△739	△198	△797	△820	—
増減率 (%)	△3.5	△33.0	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 2 月期第 2 四半期)	18,373	269	△451	△636	△38.95

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,600	△230	△190	△230	△14.08
今回修正予想 (B)	18,504	136	△478	△542	△33.19
増減額 (B—A)	△1,096	366	△288	△312	—
増減率 (%)	△5.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 2 月期第 2 四半期)	15,401	△594	△1,125	△1,137	△69.62

修正の理由

【連結】

中国において、金融引き締め及び不動産投資規制の影響を受けて建設機械の販売台数が減少すること及び、米ドル・英ポンド・ユーロの為替レートが円高に推移したことから、売上高は予想よりも7億3千9百万円減少し205億6千1百万円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の減少により営業利益は予想よりも1億9千8百万円減少し4億2百万円になる見通しであります。営業外費用において、円高により外貨建債権に為替差損が5億9千3百万円発生することから、1億8千7百万円の経常損失になる見通しであります。第2四半期累計期間の四半期純損失は4億7千万円になる見通しであります。

【個別】

3月に発生しました東日本大震災による部品調達の遅れに対して、建設機械生産遅れの6月以降の挽回を計画しましたが、計画通りに進まなかったことから、売上高は予想よりも10億9千6百万円減少し185億4百万円になる見通しであります。

利益の面では、売上高が減少するものの材料費及び経費が減少すること及び子会社への販売価格の値上により、営業利益は1億3千6百万円になる見通しであります。営業外費用において、円高により外貨建債権に為替差損が6億5千5百万円発生することから、4億7千8百万円の経常損失になる見通しであります。第2四半期累計期間の四半期純損失は5億4千2百万円になる見通しであります。

2. 平成24年2月期 通期業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,500	1,140	1,190	660	40.41
今回修正予想 (B)	39,700	580	△390	△780	△47.76
増減額 (B-A)	△2,800	△560	△1,580	△1,440	—
増減率 (%)	△6.6	△49.1	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年2月期)	34,928	71	△872	△1,299	△79.55

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,200	20	390	170	10.41
今回修正予想 (B)	35,600	120	△420	△490	△30.00
増減額 (B-A)	△600	100	△810	△660	—
増減率 (%)	△1.7	500.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年2月期)	28,639	△1,435	△1,788	△2,946	△180.42

修正の理由

【連結】

中国において、金融引き締め及び不動産投資規制の影響を受けて建設機械の販売台数が減少すること及び、米ドル・英ポンド・ユーロの為替レートが円高に推移すると予想されることから、売上高は予想よりも28億円減少し397億円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の減少により営業利益は予想よりも5億6千万円減少し5億8千万円になる見通しであります。営業外費用において、円高により当社の外貨建債権及び中国子会社の円建債務に為替差損が9億9千2百万円発生することから、3億9千万円の経常損失になる見通しであります。当期純損失は7億8千万円になる見通しであります。

第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル=77円、1英ポンド=119円、1ユーロ=102円、1人民元=12円を前提としております。

【個別】

中国子会社に対する生産用部品の売上の減少及び米ドル・英ポンド・ユーロの為替レートが円高に推移すると予想されることから、売上高は予想よりも6億円減少し356億円になる見通しであります。

利益の面では、売上高は減少するものの材料費及び経費が減少すること及び子会社への販売価格の値上により、営業利益は1億円増加し1億2千万円になる見通しであります。営業外費用において、円高により外貨建債権に為替差損が9億5百万円発生することから、4億2千万円の経常損失になる見通しであります。当期純損失は4億9千万円になる見通しであります。

第3四半期以降の外国為替レートは、連結と同じレートを前提としております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上